

## 2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 シンポ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5903 URL <https://www.shinpo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 紀彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田口 茂樹 TEL 052-776-2231  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	3,278	2.9	520	10.0	533	9.7	359	52.6
2022年6月期第2四半期	3,185	27.1	473	63.2	486	64.0	235	8.9

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 379百万円 (61.8%) 2022年6月期第2四半期 234百万円 (△6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	63.56	—
2022年6月期第2四半期	41.66	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	7,327	5,904	80.6
2022年6月期	7,118	5,666	79.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 5,904百万円 2022年6月期 5,666百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年6月期	—	0.00			
2023年6月期（予想）			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	0.7	930	4.9	940	3.8	636	19.5	112.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	6,140,850株	2022年6月期	6,140,850株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	481,048株	2022年6月期	481,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	5,659,843株	2022年6月期2Q	5,659,847株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が依然として高い水準で推移しているものの、ウィズコロナを前提とした生活様式が整ってきたことで社会経済活動は正常化に向かいつつあります。一方で円安の進行による物価の上昇、半導体・電装品を中心とした部品不足、ロシア・ウクライナ問題の長期化による物流の混乱、資源・エネルギー価格の高騰など、景気の先行きは依然不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要マーケットである焼肉業界におきましても3年ぶりに行動制限のない夏休み、冬休みとなり、ロードサイド店を中心に客足が順調に回復するなど明るい兆しが見え始めました。一方で新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で生活スタイルが変化し、外食から中食、内食へシフトしていることや、原材料価格やエネルギー価格の高騰による仕入価格や水道光熱費などの上昇、人手不足による人件費の増加など依然として不透明な状況が続いております。

海外マーケットにおきましては、中国市場においてロックダウンを伴うゼロコロナ政策により、主要顧客となる飲食業界は大変厳しい状況が続きました。一方でアメリカをはじめとする北米市場や東南アジアなどにおいては新型コロナウイルス感染症による影響が徐々に緩和されてきており、特に台湾、香港において市場は比較的堅調に推移しました。

このような状況下で当社グループは、国内におきましてはコロナ禍で換気の良さが評価されている焼肉店の新規出店需要を取り込み、繁盛店のまるごとサポートとして店舗設計からアフターサービスに至るまで、繁盛店づくりをトータルでサポートしてきました。また、高品質の下引き型無煙ロースターをはじめとする利益率の高い製品の販売を強化するなど高収益体制への転換を図り、競争力強化に取り組んでまいりました。

また、コロナ禍の影響が徐々に緩和し、焼肉店の営業が正常化しつつある中でメンテナンスサービスやアミ洗浄サービス、部材品の販売強化にも取り組んでまいりました。

海外におきましても市場規模の大きい北米や中国を軸としつつ、コロナ禍においても市場が比較的堅調であった台湾や香港、インドネシアなどに対して集中的に営業展開を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,278百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は520百万円(前年同期比10.0%増)、経常利益は533百万円(前年同期比9.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は359百万円(前年同期比52.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ209百万円増加し7,327百万円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品の減少47百万円、その他流動資産の減少80百万円などがあったものの、現金及び預金が349百万円増加したことなどによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し1,423百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加105百万円などがあったものの、買掛金が73百万円減少、関係会社整理損失引当金が34百万円減少、長期借入金が30百万円減少したことなどによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し5,904百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当141百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益359百万円の計上などによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ399百万円増加し2,033百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は563百万円の増加(前年同期は251百万円の増加)となりました。これは関係会社整理損失引当金の減少額34百万円、仕入債務の減少76百万円、法人税等の支払77百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益544百万円の計上、未払消費税等の増加151百万円などがあったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は12百万円の増加(前年同期は544百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出42百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は183百万円の減少(前年同期は183百万円の減少)となりました。これは、配当金の支払141百万円、長期借入金の返済による支出30百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月5日の「2022年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,218,963	2,568,690
受取手形及び売掛金	721,612	712,709
商品及び製品	87,829	68,759
仕掛品	82,708	99,229
原材料及び貯蔵品	451,712	404,655
その他	120,713	40,466
貸倒引当金	△69	△50
流動資産合計	3,683,470	3,894,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,176,732	1,169,256
土地	1,482,891	1,482,891
その他(純額)	318,069	321,459
有形固定資産合計	2,977,693	2,973,607
無形固定資産	28,200	21,939
投資その他の資産		
投資有価証券	301,144	312,941
その他	147,047	143,897
貸倒引当金	△19,068	△19,068
投資その他の資産合計	429,122	437,770
固定資産合計	3,435,016	3,433,316
資産合計	7,118,487	7,327,778

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	160,399	86,580
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	92,026	197,435
役員賞与引当金	18,900	8,880
関係会社整理損失引当金	38,637	4,573
その他	737,892	743,727
流動負債合計	1,127,855	1,121,197
固定負債		
長期借入金	110,000	80,000
役員退職慰労引当金	44,101	47,299
退職給付に係る負債	113,710	122,116
その他	55,944	52,667
固定負債合計	323,756	302,083
負債合計	1,451,611	1,423,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	639,307	639,307
資本剰余金	595,887	595,887
利益剰余金	4,408,624	4,626,875
自己株式	△188,375	△188,426
株主資本合計	5,455,444	5,673,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171,726	180,111
為替換算調整勘定	39,704	50,741
その他の包括利益累計額合計	211,431	230,852
純資産合計	5,666,875	5,904,497
負債純資産合計	7,118,487	7,327,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,185,899	3,278,324
売上原価	2,006,626	2,027,983
売上総利益	1,179,273	1,250,341
販売費及び一般管理費	705,509	729,408
営業利益	473,763	520,933
営業外収益		
受取利息	109	77
受取配当金	2,186	2,336
受取賃貸料	3,385	3,379
為替差益	494	6,808
雇用調整助成金等	5,485	—
その他	2,256	1,034
営業外収益合計	13,918	13,637
営業外費用		
支払利息	357	182
不動産賃貸費用	1,245	1,233
営業外費用合計	1,602	1,415
経常利益	486,079	533,154
特別利益		
保険解約返戻金	42,118	1,226
受取保険金	—	11,702
特別利益合計	42,118	12,929
特別損失		
固定資産除却損	385	1,276
役員退職慰労金	118,685	—
リコール関連損失	41,435	—
特別損失合計	160,505	1,276
税金等調整前四半期純利益	367,692	544,807
法人税等	131,888	185,059
四半期純利益	235,804	359,747
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,804	359,747



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	235,804	359,747
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,957	8,384
為替換算調整勘定	4,474	11,037
その他の包括利益合計	△1,482	19,421
四半期包括利益	234,321	379,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,321	379,168
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	367,692	544,807
減価償却費	31,706	55,086
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△247	△19
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,200	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,200	△10,020
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△34,063
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,730	3,198
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,700	8,405
受取利息及び受取配当金	△2,296	△2,414
支払利息	357	182
雇用調整助成金等	△5,485	—
保険解約返戻金	△42,118	△1,226
固定資産除却損	385	1,276
役員退職慰労金	118,685	—
リコール関連損失	41,435	—
売上債権の増減額(△は増加)	275,721	△17,105
棚卸資産の増減額(△は増加)	△88,025	58,205
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,752	△76,532
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,115	151,013
その他	△64,074	△43,806
小計	542,898	636,985
利息及び配当金の受取額	2,296	2,414
利息の支払額	△357	△182
雇用調整助成金等の受取額	5,485	—
保険解約返戻金の受取額	42,118	1,226
役員退職慰労金の支払額	△204,588	—
法人税等の支払額	△135,880	△77,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,971	563,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△431,619	△501,621
定期預金の払戻による収入	551,617	551,619
有形固定資産の取得による支出	△667,343	△42,386
投資有価証券の売却による収入	—	2,000
保険積立金の払戻による収入	98	—
その他	2,278	2,589
投資活動によるキャッシュ・フロー	△544,967	12,201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	120,000	120,000
短期借入金の返済による支出	△120,000	△120,000
長期借入金の返済による支出	△30,601	△30,000
自己株式の取得による支出	—	△51
リース債務の返済による支出	△10,854	△12,373
配当金の支払額	△141,553	△141,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,009	△183,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,932	8,307
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△473,073	399,726
現金及び現金同等物の期首残高	2,404,307	1,633,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,931,234	2,033,362

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。